

# 環境活動レポート

2018



作成：2018年7月27日

***Time with pride.***

ひたむきに、歩み続ける。



## 目次

- 1.事業活動の概要
- 2.対象期間・対象範囲
- 3.ISO14001 認証
- 4.環境方針
- 5.環境体制の組織図
- 6.環境目標と実績
- 7.主な環境活動
- 8.環境関連法規の順守状況



# 1. 事業活動の概要

事業所名：株式会社ムーンスター

代表取締役：猪山 渡

創業：明治6年（1873年）10月20日

資本金：13億円

売上高：395億円（平成29年6月期）

従業員：865名（平成29年6月期）

業種：スニーカー、紳士靴、婦人靴、スポーツ用品の製造・販売

経営理念：すべての人々の「笑顔」と「しあわせ」のために

ホームページ：<http://www.moonstar.co.jp/>



**Time with pride.**  
ひたむきに、歩み続ける。

積み重ねてきた技がある。  
受け継いできた志がある。  
それは、先人たちが一步一步、進化を求め歩んできた証。  
靴にあるべき性能を磨き続け、感性と響き合う。  
履きものの歴史を紡いできた誇りと共に、さらにその先へ。  
ひたむきに、歩み続ける。  
Time with pride.  
ムーンスター。



**MADE IN KURUME**

スニーカーのまち、久留米。  
140年間、地下足袋発祥として靴作りを続けることで養った  
伝統と技術から生まれたMADE IN KURUMEラインナップ。

## 2.対象期間・適用範囲

対象期間：2017年7月1日～2018年6月30日(当社、第91期)

適用範囲：福岡県久留米市白山町60番地

活動範囲：靴の設計・開発及び製造

## 3.ISO14001：2015 認証

登録認証番号：JQA-EM1141

登録事業者：株式会社ムーンスター

本社

福岡県久留米市白山町60番地

登録日：2000年12月1日



## 4.環境方針

株式会社ムーンスターは“すべての人々の「笑顔」と「しあわせ」のために”を経営理念として、全てのお客様が「笑顔」になれる靴、「しあわせ」を感じる靴をお届けできるよう全社一丸となって取り組んで参ります。

そして、環境に優しい事業活動を全員参加で取り組み、人と地球に優しい循環型社会の形成と環境保全に努めます。

1. 事業活動による環境影響を把握し、環境目的・目標を定め、定期的な見直しを行い、環境の汚染予防と継続的な改善に取り組みます。
2. 環境法令・協定及び同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 靴の開発から生産、消費、廃棄に至るすべての段階に考慮した環境負荷の低減を図っていきます。
4. 環境負荷低減型の商品作りを進めます。
5. 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減及びリサイクルの推進に努めます。

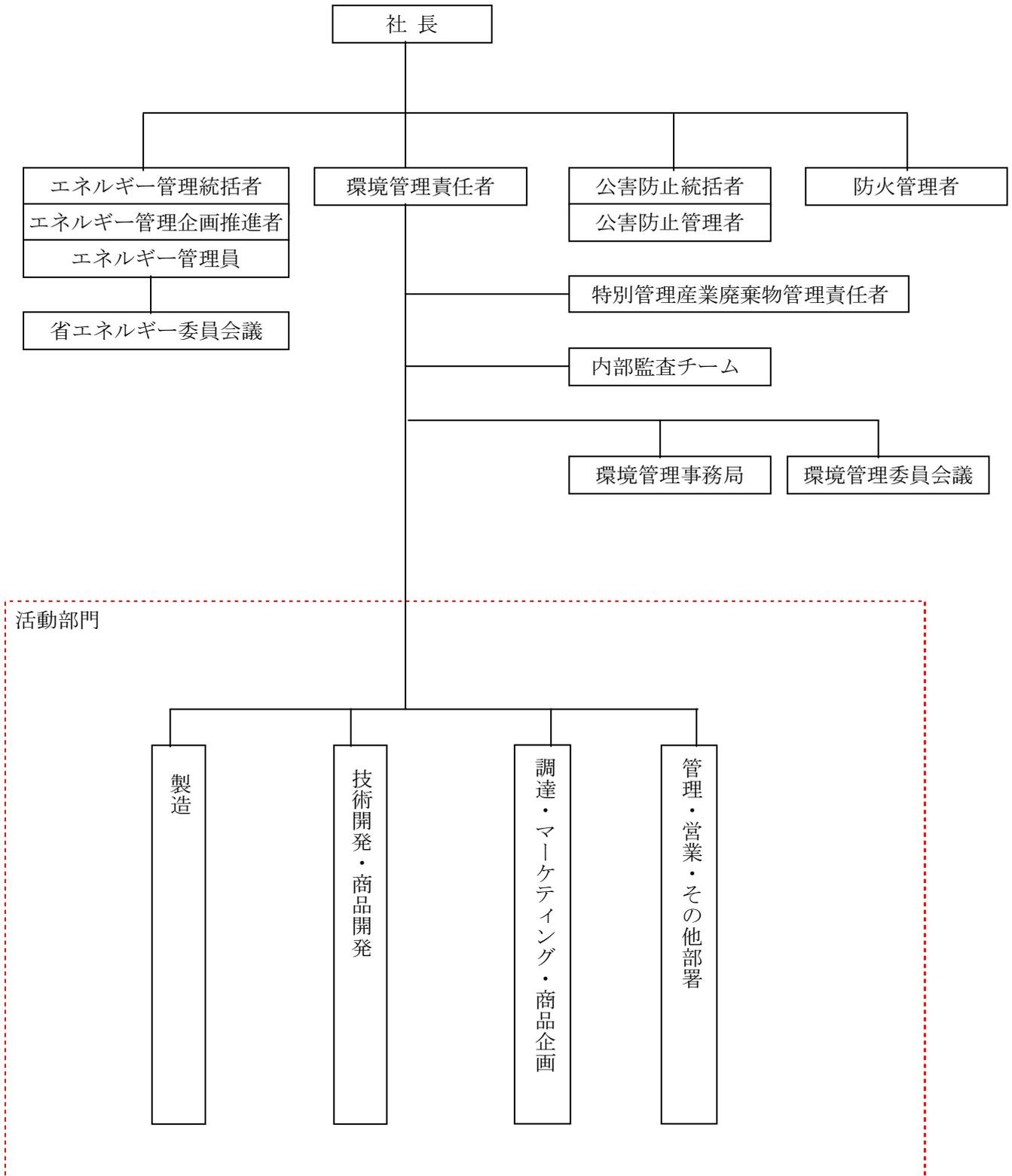
この環境方針は、社内に周知徹底するとともに一般の方々にも公開します。

平成26年4月1日

株式会社ムーンスター

代表取締役社長 猪山 渡

## 5.環境体制の組織図



## 6. 環境目標と実績

各グループにて目標を設定し活動を実施しました。

下記は環境に関係の深い代表的な取り組みの目標達成状況です。

### 【当社 第91期(2017年7月～2018年6月)の取り組み目標と実績】

取り組み目標	実績	評価
産業廃棄物の原単位 5%削減	目標値比 88%の実績で目標達成	◎
電気使用量の原単位 1%削減	目標値比 94%の実績で目標達成	○
環境負荷低減型の商品を1品種以上開発	1品種以上の開発	○

- ※ 評価：◎＝目標を大幅に上回る成果があった  
 ○＝目標を達成、順調に推移した  
 △＝積極的に取り組んでいるが目標達成出来ず  
 ×＝活動が不十分で目標未達成

当社、第92期(2018年7月～2019年6月)の環境目標は、産業廃棄物の削減、電気使用量原単位の削減、溶剤糊の削減…等に取り組めます。

### 【環境配慮型の商品】

地球環境について考え、

**エコロジーな靴を作りました。**

**地球にも足にもやさしいシューズです。**

地球環境に配慮して、500ml PETボトル1本分の素材を靴の一部に再利用し、限りある資源の有効活用に努めています。

**環境負荷低減型商品**  
(リサイクルPET素材使用)



(株)ムーンスターは、温室効果ガス削減のために、環境負荷低減商品を提案します。

## 7. 主な環境活動

久留米本社では、ISO14001 の環境マネジメントシステムを運用し、環境関連業務、省エネ、省資源および廃棄物の削減など地球環境保全に配慮した取り組みを進めています。

### (1) 環境管理委員会

久留米本社では、定期的に環境管理委員会を開催しています。会議では、環境目標の進捗管理、法的要求事項の順守報告、環境法の改正情報などを話し合い環境負荷低減の活動を推進しています。

### (2) リサイクルの推進

持続可能な循環型社会の構築のために、リユース・リサイクルを推進し最終埋め立て処分量をゼロとする“廃棄物ゼロエミッション”に取り組んでいます。

今期は、焼却処理をしていた廃液を一品種、リサイクルへ変更しました。久留米工場の産業廃棄物リサイクル率は、現在93.8%(前年より1.8%アップ)です。社内でリサイクル出来ないものは、地元企業の異業種との連帯を進めてリサイクルに取り組んでいます。

今後も産業廃棄物の削減、リサイクルの推進を継続的に続けていきます。

### (3) 緊急事態への対応

ムーンスターでは年3回、消防総合訓練(消火、通報、避難の訓練)を実施しています。

自衛消防隊による消火訓練、社員全員参加の非難訓練、そして新入社員へは消火器の使い方の教育訓練をおこないました。

また、工場部門ではタンクから有機溶剤が漏れたという想定での緊急事態訓練を年1回実施しています。

### (4) 美化運動

久留米本社では、ボランティア活動として工場周辺の清掃活動や花いっぱい運動を定期的に実施しています。

また、6月3日(日)に開催された自治体主催の都心部道路美化キャンペーンにも参加しました。

## (5) 工場排水の水質検査結果

定期的に工場排水の水質自主検査をおこなっておりますが、平成 29 年 12 月 1 日に、久留米市による工場排水の抜き打ち検査がありました。

結果は下記の通り問題はありませんでした。

今後も工場排水の水質保全管理を継続していきます。

項目	基準値	第一工場 の排水	第二工場 の排水
水素イオン濃度(PH)	6.0～8.4	7.7	7.7
生物化学的酸素要求量(BOD)	10 以下	1.3	1.6
浮遊物質(SS)	15 以下	<1	3
油分(ノルマルヘキサン抽出物質)	2.5 以下	<0.5	<0.5

単位：PHは無し。それ以外は mg/l。

## 8. 環境関連法の順守状況

リスク管理のために以下の取り組みを実施し、毎年、内部環境監査で確認しています。

- ・ 法令に基づく管理者・責任者などを設置し、日常点検・監視・測定を実施
- ・ 法的要求事項順守管理票/順守評価記録にて定期的な順守評価の実施
- ・ 現場の巡視活動
- ・ 業務上必要な教育研修
- ・ 法令改正動向の調査と関係者への周知

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はなく関係当局からの指摘、指導もありませんでした。

以上